



2026年 5月15日

各 位



会 社 名 ぷらっとホーム株式会社
 代表取締役社長 鈴木 友 康
 コード番号 6836 東証スタンダード
 問 合 せ 先 取締役執行役員兼管理本部長
 福留 正邦
 (TEL 03-5213-4376)

通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2025年10月30日に公表した2026年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期連結業績予想と実績値との差異(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,300	19	36	12	2.53
実績値 (B)	1,298	12	26	22	4.77
増減額 (B-A)	△ 1	△ 6	△ 9	10	
増減率 (%)	△0.1	△33.5	△26.3	88.6	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	—	—	—	—	—

(注) 2026年3月期より連結財務諸表を作成しているため、前期実績 (2025年3月期) については、記載しておりません。

2. 差異の理由

当連結会計年度は、ネットワーク事業がI o Tゲートウェイ、ネットワークアプライアンスそしてマイクロサーバーのそれぞれの増販に努めた結果、全体としてほぼ計画通り拡大し、好調に推移しました。新規事業として取り進めているWeb3事業は、積極的な受注活動と開発に努め、過年度よりも大幅に事業規模を拡大することができました。

また、販売費及び一般管理費は、事業活動を推進するため人材の増強や広告関連への支出を積極化するとともに、Web3事業の研究・開発に投資を続けました。

その結果、営業利益、経常利益は業績予想を下回りました。

一方、当社は今後の事業の発展を見据えて、社内システムの更新投資を順次行うことを計画しておりました。しかしAI技術の急速な発展によるソフトウェアの進歩を見定めて、当社グループの事業の発展に合わせた最適なシステムを選定するため、更新投資を見直し、費用を削減することとしました。これにより、当初予想に織り込んでいた減損処理の必要がなくなり、その結果、親会社株主に帰属する当期純利益は増額いたしました。

以上